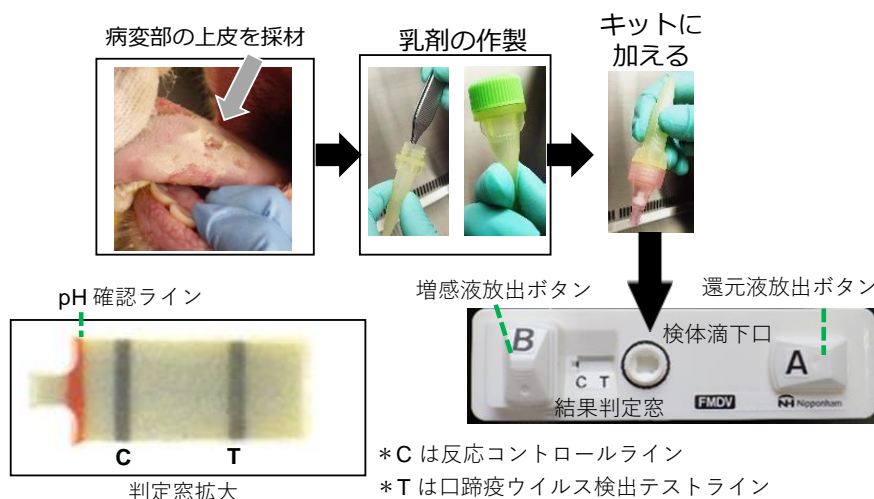


## 迅速かつ高感度に口蹄疫ウイルスの検出が可能な 銀増幅イムノクロマトキットの開発

開発した全7タイプの口蹄疫ウイルスの検出が可能なキットは、銀増幅法の採用により高い検出感度を示す。また、検体処理液の改良により、検体中に牛の唾液が大量に混入した際に見られるイムノクロマト反応阻害を抑制し、口蹄疫の好発病変部位である舌や口腔内の病変部材料に対して高い検査精度を示す。

### ☆ 技術の概要

1. 開発した口蹄疫ウイルス検出銀増幅イムノクロマトキットは、特別な機器を必要とせず、野外で使用可能である（図）。
2. 本キットは、全7タイプの口蹄疫ウイルスを検出可能で、海外の口蹄疫発生国における実証試験では高い検出感度を示した。
3. 開発した検体処理液は、問題点であった牛唾液の混入によるイムノクロマト反応の阻害を解消することに成功しており、野外の臨床検体を用いた検査にも適している。
4. 社会的インフラ整備の不十分な国や国土が広大な国などへの普及が見込まれ、海外の口蹄疫発生国で活用されることにより、我が国への口蹄疫侵入リスクを低減することが期待される。



図、口蹄疫抗原検出イムノクロマトキットの概要

### ☆ 活用面での留意点

1. 本キットは動物用体外診断用医薬品として製造販売承認を受けている。口蹄疫に関する特定家畜伝染病防疫指針に準じて、国の指示に従って使用される。
2. 詳しくは、農研機構「お問い合わせ窓口」  
(<https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/index.html>) までお問い合わせください。  
(農研機構 動物衛生研究部門 森岡一樹)